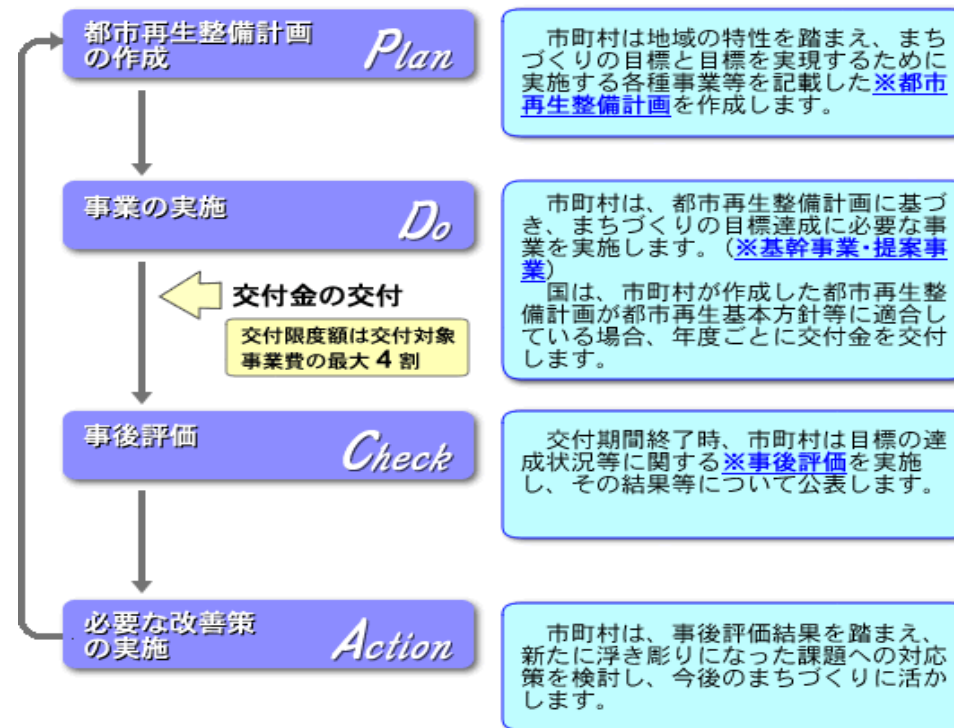


まちづくり交付金事業 二期計画

小諸市

まちづくり交付金事業とは

まちづくり交付金は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るため平成16年度に創設された制度です。



基幹事業

基幹事業とは、道路、公園、下水道、地域交流センターなどまちの基幹となる施設等の整備に関する事業です。

(道路・公園・河川・下水道・広場・駐車場・高質空間形成施設・高次都市施設・街なみ環境整備事業など)

提案事業

提案事業とは、社会実験、まちづくり活動など市町村の提案に基づく事業です。

(事業活用調査・まちづくり活動推進事業・地域創造支援事業)

関連事業

関連事業とは、まちづくり交付金事業の対象とならない事業(まち交エリア内)を市で実施する事業、及び県等の市以外の事業主体がまちづくりの一環で行う事業です。

まちづくり交付金事業の事業費には算定しません。

まちづくり交付金事業(小諸宿周辺地区)の課題と目標

課題

- 懐古園と中心市街地は鉄道及び国道141号によって分断されていることから、懐古園に訪れた観光客が中心市街地に残された歴史的資産に触れる機会を逃している。懐古園に訪れる観光客を中心市街地へ誘導し、さらに一体的な周遊を可能とする交通基盤の整備、イベント開催や案内機能の充実など、ハード・ソフト両面からの整備が必要である。
- 新幹線の開通に伴い、利用客が減少するなど駅周辺全体の活力が低下している。駅を毎日利用する地元利用客の利便性に配慮し、「街の顔」としてふさわしい駅周辺に整備する必要がある。
- 中心市街地に駐車場が不足している状況にある。自動車利用客のニーズに応じた、利便性の高い駐車場の整備が必要である。

目標

『小諸に新旧のハーモニーが奏でる新しい賑わいを創出』

1. 「高原に育む活力ある詩情公園都市・小諸」を目指し、自然と歴史・文化を生かした小諸らしい誇りあるまちづくりを進める
2. 中心市街地において歩行者が安全でゆとりある歩行者空間を創出し、懐古園から小諸宿周辺への一体的な周遊性の向上を図る
3. 市民が主体となった地域活動の支援を行なうとともに、市民と来訪者が交流できる新しい賑わいの創出を図る

まちづくり交付金事業 2期計画 小諸宿周辺地区（平成21年度～平成25年度）

H20.7.24現在

基幹事業					(単位:円)
事業	事業箇所名	細項目	事業主体	事業費	
道路	相生町電線類地中化事業(相生町～荒町)	電線類地中化 L=70m	長野県	40,000,000	
公園	大手門公園	公園新設	小諸市	578,500,000	
地域生活基盤施設	南庭エントランス広場	ポケットパーク・市役所東側通り歩道設置	小諸市	62,000,000	
街なみ環境整備事業	相生町地区(都市景観創造地区)	アーケード撤去後壁面補修・日覆い助成 40件	小諸市	40,000,000	
高次都市施設	駅地域交流センター	観光案内所・市民交流センター・市民ギャラリー他	小諸市	762,242,040	
計				1,482,742,040	

提案事業					
事業	事業箇所名	細項目	事業主体	事業費	
地域創造支援事業	大手門公園周辺修景事業	土堀11.7m・板掘32m設置/継電室2階部分解体工事	小諸市	17,500,000	
	南城公園	電光掲示板設置	小諸市	125,000,000	
	懐古園施設再整備	懐古園馬場 芝張り工	小諸市	2,000,000	
	駅地域交流センター	図書館	小諸市	484,357,960	
	空き店舗活用事業		小諸市	20,000,000	
事業活用調査	事後評価		小諸市	3,000,000	
まちづくり活動推進事業	イベント負担金	フード祭イベント負担金	小諸商工会議所	10,000,000	
	"	小諸駅前イルミネーション	実行委員会	5,000,000	
	"	お人形さんめぐり	実行委員会	2,500,000	
計				669,357,960	

合計			(全体事業費)	2,152,100,000	
----	--	--	---------	---------------	--

関連事業					
事業	事業箇所名	細項目	事業主体	事業費	
道路	相生町電線類地中化事業(相生町～荒町)	電線類地中化 L=880m	長野県		
街路	東郷土西原線(八幡町地区)	延長L=380m 幅員(一般部)W=12m	長野県		
市施設	南庭エントランス広場	南庭入口通路工事	小諸市	19,300,000	
駅舎等建替	小諸駅駅舎他	駅舎・派出所・JR施設等	しなの鉄道他		
計					

基幹事業 1,482,742,040 × 0.38888888 = 576,621,891 (→提案事業費国費率40%限度額)
 提案事業 669,357,960 > 576,621,891 → よって交付対象率は 40%以下
 国費 1,482,742,040 + 576,621,891 × 0.4 = 823,745,573
 国費率(全体) 38.28%

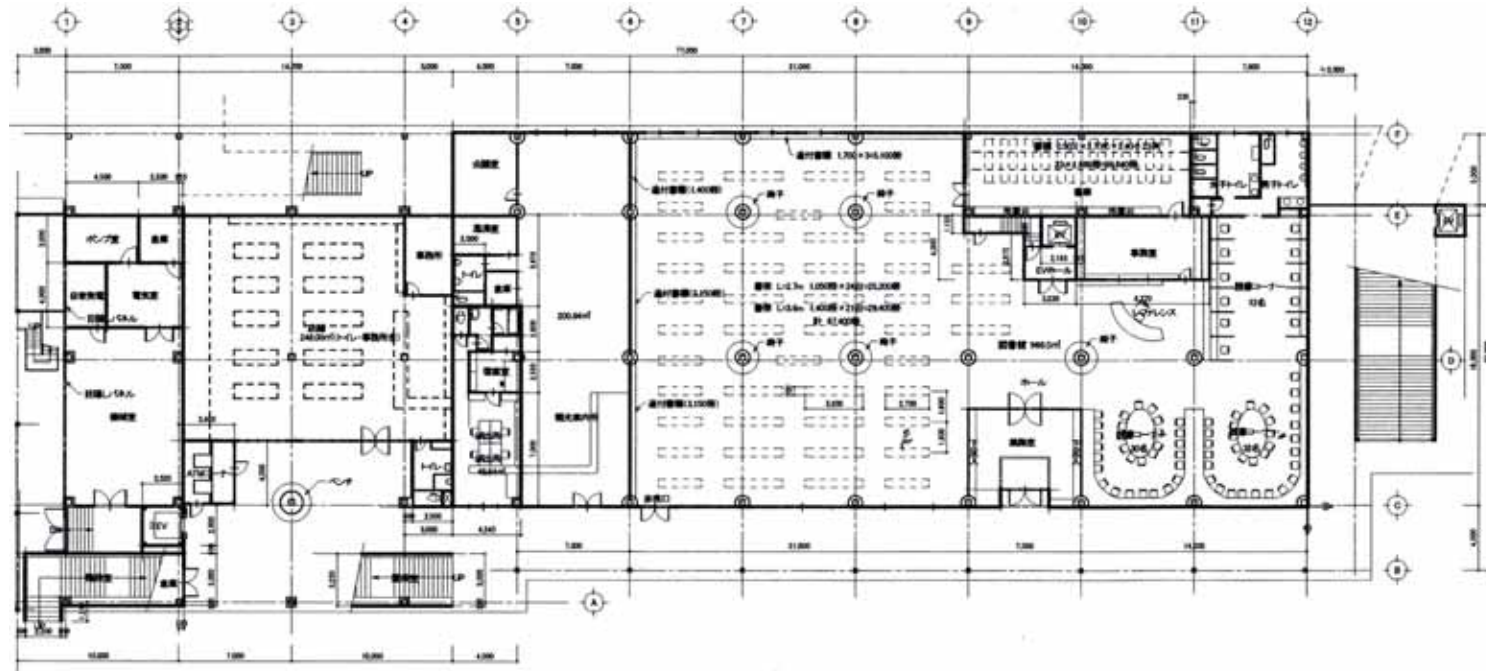
図書館併設複合交流施設比較表

基本姿勢	駅舎併設施設	大手の杜屋上緑化施設
1.外観デザイン 木々に囲まれた落ち着いた雰囲気 歴史文化都市 小諸らしさ 小諸城址 懐古園との調和 交流が持てる場の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・木々を感じられる施設ではない ・建物のイメージ、色彩が選べる ・明治の洋館風、お城風とも自由設計 ・駅・商店街の中心となりうる 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園内のため木々に囲まれ落ち着いた場である ・壁面が2面のため、イメージが単調となる ・建物が主張する事はない ・目的がないと利用しづらい
2.複合施設の機能 図書館 駅舎 観光案内所 子育て・視聴覚室 郷土資料・市民ギャラリー その他の施設	<ul style="list-style-type: none"> ・静寂な感は薄い、利便性は良い ・昭和25年改築以来老朽化は否めない ・駅前で利用しやすい ・静寂な感は薄い、利便性は良い ・2階通路に設置が可能 ・ステーションカフェ・コンビニの設置が可能 ・オープンスペースが待合室となる ・災害時の避難施設となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館機能としては申し分ない ・駅舎は対象外 ・位置的に併設は考えにくい ・公園と併用することができ、静寂である ・設置が可能 ・ブックカフェの設置が可能 ・災害時の避難施設となる
3.周辺施設との相乗効果 公園との一体感 商店街へのアプローチ その他施設との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ガーデン広場・懐古園とつながる ・各商店街と一連となる ・公共機関の利用が容易となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・懐古園とのつながりにやや難がある ・商店街との “ ” ・公共機関の利用にやや難がある
4.駐車場の確保 施設利用者の利便性 周辺の駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・市営駐車場が隣接（パス券の発行 可） 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車台数確保のため地下駐車場を設置 ・近隣に有料駐車場
5.市政方針	S57年度：「小諸市中心市街地の再生にむけて」を公表...駅ビルの建設を掲げる S59年度：「小諸駅周辺整備計画調査」では...橋上駅舎の整備を掲げる H 8年度：小諸駅東西自由通路開通 H 9年度：しなの鉄道開業	

<p>5.市政方針</p>	<p>H12年度：「中心市街地活性化基本計画」を策定...駅舎・駅前広場の施設づくりを掲げる H14年度：こもろ東急百貨店閉店 H16年度：「市立小諸図書館建設検討委員会報告」...平屋建て2,160㎡が望ましい ：「小諸駅舎及び駅周辺整備計画検討委員会提言」...上記比較内容 ：大手門復元工事開始 H17年度：「小諸市第7次基本計画」スタート...図書館・駅舎・交流観光の整備を重点 ：「小諸駅周辺整備基本計画」を策定...駅周辺整備に着手 H18年度：「観光資源を活かしたまちづくりモデル検討調査」を実施 H19年度：第1期まちづくり交付金事業を縮小・第2期まちづくり交付金で段階的整備に</p>	
<p>総合評価</p>	<p>小諸駅周辺地区整備については、昭和57年度から25年以上にわたり計画がされてきたが、この間一貫して提案されたのが駅舎（駅ビル）の整備であった。</p> <p>しかし、駅機能と図書館の関わりについては議論がされておらず、別々の方向で進んでいたのが現在まで整備に至らなかった原因と思われる。</p> <p>今回の駅舎併設の図書館整備は、老朽化の著しい駅舎と図書館が同時に整備できるだけでなく、人々が交流を持てる場の創出に期待が持てる施設となるが、面積的に両者の希望通りとならない可能性も否めない。橋上駅にする事により東西自由通路との連絡がスムーズになり、空間の利用も考えられる。</p> <p>このほか、芹沢市長は第1期の選挙公約として駅舎併設の図書館を掲げている</p>	<p>大手門を核とする大手門公園は、市街地に懐古園と一体となる社を整備するもので、公園と図書館の位置付けは、利用する者のライフスタイルに合わせた新しい生涯学習の場となりうるものである。しかし、図書館が最優先するため利用者が特定されやすく、人々の交流の場としての機能が希薄となる可能性もある。</p> <p>また、駅舎の老朽化への対応や、公共交通機関の利用者の対応など新たな施策の展開が必要となってくる。</p> <p>坂のまち小諸の地の利を活かした、傾斜地の建物のあり方等ではこのような公共施設が存在する事もPRできる。建物が主張しない事は周辺の景観が保てる面もあるため、施設の目的に応じこのような建築物も選択の一つとなる。</p> <p>今回の建物は複合交流施設としては、用途が限られてしまう。</p>

1階平面図

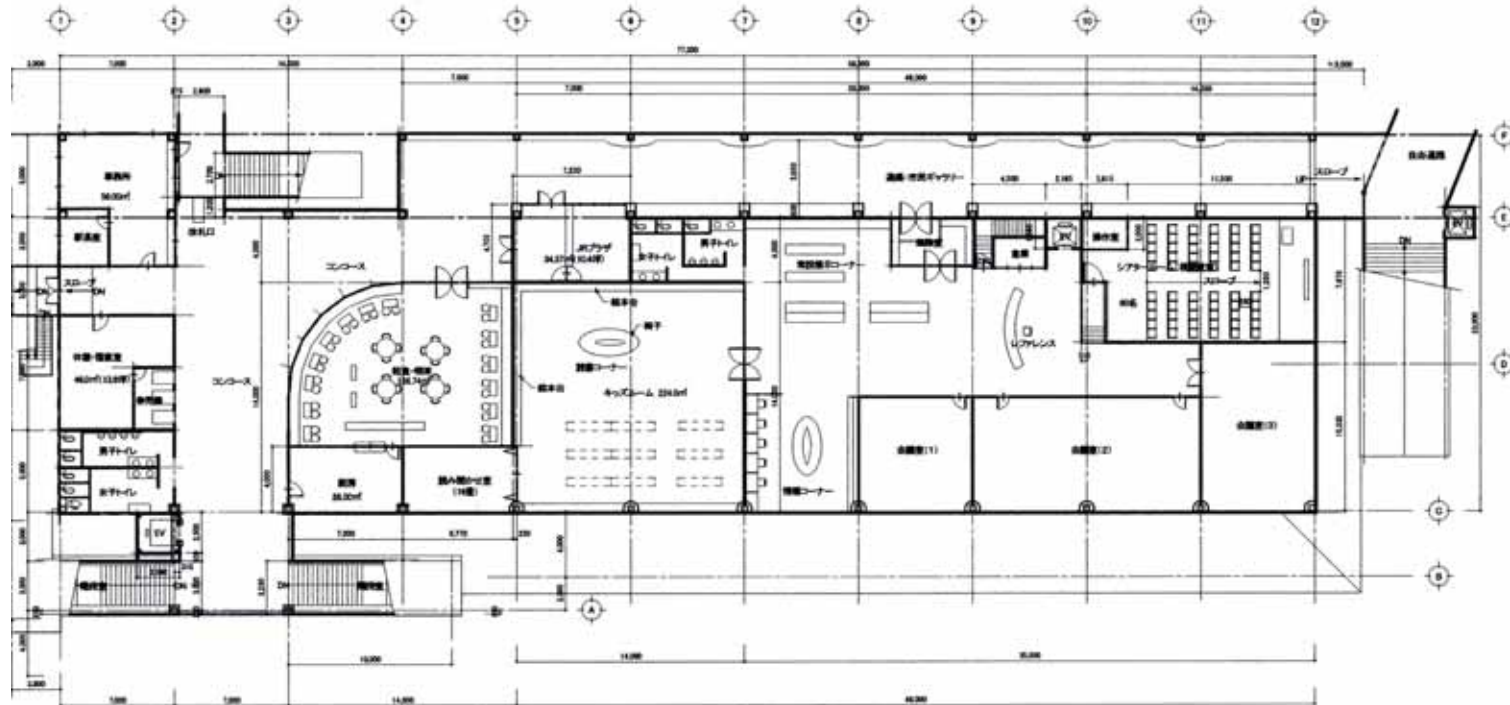
まち交ヒアリング用計画案



1階平面図 S:1/250

2階平面図

まち交ヒアリング用計画案



2階 平面図 S:1/250

まちづくり交付金2期計画採択へのスケジュール

										1月	H20
										2月	
										3月	
										4月	
										5月	
										6月	
										7月	
										8月	
										9月	
										10月	
										11月	
										12月	
										1月	H21
										2月	
										3月	

市民関係団体説明会

都市再生整備計画提出（補助金本要望提出時と同時）

整備計画調整期間

都市再生整備計画
作成期間

要素事業毎の
費用対効果算出

計画額確定

要
望
算
補
助
金

要素事業確定

要素事業集約

計画策定エリアの確定

承認